

政権交代と 憲法「改正」の行方

どこに向かう？日本の自衛隊・日米安保・国際貢献

昨年8月の総選挙で、新しい政権が発足し、現在のところ、改憲の動きはストップしているように見えます。

しかし、昨年末に、首相が、「ベストな国のあり方のための憲法をつくりたい」と改憲への意欲を示し、党内で議論を深める考え方を明らかにしたことが、報道されました。一方で、自衛隊を自由に海外に派遣できる法制度の準備につながる解釈改憲の動きにも、注目が必要です。また、閣議決定された2010年度政府予算案では、厳しい財政状況の中防衛予算は2009年度の当初予算から162億円増え、在日米軍への「思いやり」予算も維持されています。

今回のシンポジウムでは、今度の政権交代によって、日米安保や国際貢献、そして憲法改正問題がどのような方向に向かうのか、私たちはどう考えるべきなのか、多彩なパネリストをお迎えして、様々な視点から検討します。



第1部 講演

テーマ「政権交代と憲法「改正」の行方」

水島 朝穂氏（早稲田大学法学学術院教授）

第2部 パネルディスカッション

パネリスト

水島 朝穂氏

天木 直人氏（元駐レバノン日本国特命全権大使、作家）

平岡 秀夫氏（民主党議員）



日時

平成22年 2月26日 金 18:00~20:30
(2010年) 【開場 17:30】

場所

弁護士会館 2階 講堂クレオ

※東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」B1-b 出口より直通
午後7時以降は地下1階出入口よりお入り下さい。

参加無料
事前申込不要

主催 ● 第二東京弁護士会

共催 ● 日本弁護士連合会 東京弁護士会 第一東京弁護士会 (予定)

問合せ先 ● 第二東京弁護士会 人権課 TEL 03-3581-2257 FAX 03-3581-3337